

無料オンラインセミナー

欧州と日本におけるCII及び／又はAI関連発明 －それぞれの特許要件における類似点と相違点

CII and/or AI related inventions in Europe and Japan
- similarities and differences in the respective patentability requirements -

概要 - Abstract

第4次産業革命の進展に伴い、コンピュータ利用発明（CII）や人工知能（AI）を利用した発明の特許出願が増加しています。

本講演では、日本特許庁及び欧州特許庁における、このような出願の取扱いについて理解を深めることを目的とし、各庁で適用される特許要件、審査での実務的側面を評価していきます。

また、日本特許庁と欧州特許庁の審査における相違点についての理解を深めるため、いくつかの判例も紹介していきます。

開催日時

2024年2月8日（木） 16:30～18:00

開催形式

オンラインLive配信（Zoom）

言語

英語／日本人弁理士が随時要約翻訳

応募方法

2024年2月6日（火）17:00までに
下のQRコードからお申込みください。



※申込人数が100名に達し次第、
申込みを締め切らせていただきます。

講師



ユルゲン・ファラー
Jürgen Faller

1993年より知的財産分野で実務。1993年よりTBK入所。
ダルムシュタット工科大学卒業(電子工学、電気通信、固体電子工学のディプロマ取得)
シーメンス社及びパーブラウン社にてR&Dエンジニアとして勤務。
専門は電子工学、電気通信。



井上 悠輝
Yuki Inoue

欧州特許弁理士・日本弁理士
お茶の水女子大学卒業、ノースブルックカレッジ（英国）卒業
2004年より特許事務所（東京）勤務。
2011年TBK入所
専門はデータ処理、表示映像制御など。

主催・問合せ先

INPIT-KANSAI（独立行政法人 工業所有権情報・研修館 近畿統括本部）

電話：06-6147-2811 E-mail：ip-js01@inpit.go.jp